

聖仁会だより

2021
5.28
Vol 25

編集 広報担当

医療法人社団聖仁会 白井聖仁会病院

〒270-1426 千葉県白井市笹塚3-25-2

TEL:047-491-3111 FAX:047-491-3128

URL: <http://seijinkai-shiroy.jp/>

E-mail: shiroy@sjkhp.com



皆様からの
温かいお言葉
ありがとうございます

// トピックス //

特集：院長より新年度にあたってのご挨拶

新任医師のご紹介 木庭医師

健診センターコラム 『带状疱疹ワクチン』

病院長ご挨拶



新年度にあたって

昨年は、年初より未曾有の新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、第2波、第3波を経て、今年に入り流行状況は第4波の様相を呈しています。3回目の緊急事態宣言の発出や蔓延防止等重点措置の適用が検討されるなど感染の状況は、一向に収まる気配がなく引き続き感染防止に向けての対応が必要になっています。日常生活も新しい生活スタイル、すなわち不要不急の外出を控える、3密を避ける、マスク着用、手指衛生の励行などの行動変容が求められています。

当院においては、早期より新型コロナウイルス感染症に対してさまざまな対策を講じてきました。そういう中、昨年12月に院内感染が発生し、所管保健所などのご指導を仰ぎながら、その制御に向け対応し、幸いにして比較的短期間で収束することができました。多大のご心配とご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。現在、病院外にプレハブを設置し発熱かぜ外来を開設しておりますが、これにより発熱などの症状でコロナ感染を心配される患者さんにインフルエンザならびに新型コロナウイルス感染症の診断が可能となることに加えて、それ以外で当院を受診される患者さんが安心して来院できる診療環境となっております。入院や手術目的の患者さんにはPCR検査を実施し、万全の感染対策を講じています。なお、感染防止の一環として、全職員の検温を実施し、院内に入られる方の玄関での体温、健康チェックやご家族の面会禁止などの制限を設けさせていただいております。そのことにより、なにかとご不便をおかけすることも少なくないと思われそうですが、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

国内でコロナワクチン接種が始まり、当院においても院内の職員から接種が開始されました。今後、近隣にお住まいの方の接種が順次行われると思います。その体制づくりを鋭意進めており、当院としても地域の皆様が安心して接種を受けられるよう全力を挙げて取り組みたいと考えております。

さて、当院は平成28年12月に現在の地に新築移転してから、5年目を迎えます。「患者さま一人ひとりのかけがえのない人生の支えとなるように人に優しい医療・看護・介護を実践します」を理念に掲げ、地域の中核病院として、他の医療機関とも密に連携をとりながら、地域医療に貢献することを目標としています。急性期から療養期、在宅医療などを一体的に提供することを目指し、診療科は、内科、外科、整形外科、小児科、眼科、泌尿器科など20余りから構成されています。乳腺外科、糖尿病内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科などの専門外来も設け、多角的な診療を実践しています。新病院に新たに開設された緩和病棟は専従医師、緩和ケア認定看護師を中心に運営されています。多職種が連携して、患者さんの特性に応じた体の痛みの管理と心のケアに対応しています。健診センターでは、人間ドック、脳ドック、胃ドックなどをはじめとして、がん検診など各種検診を行っており、さまざまなニーズに応じたコースを用意しています。人工透析センターはここ数年、患者さんが大幅に増加し、医師3人体制で導入から通院および入院透析まで対応しています。アクセス造設ならびにその管理も実施し、基本的に一連の診療が院内で完結できる体制となっています。最近、整形外科で再生医療の一環として、自己多血小板血漿（PRP）療法が始まりました。患者さんご自身の血液中の血小板からPRPを作成し膝関節に注入し、変形性膝関節症やスポーツ障害などで損傷した組織の回復を促して、膝の痛みの改善を期待する治療です。消化器内科では、炎症性腸疾患の診断治療のための小腸内視鏡の導入や内視鏡の粘膜下層剥離術による治療、消化管ステント挿入術なども加わり、診療の幅が広がっています。これから電子カルテシステムの整備、病院機能評価認定の更新受審なども控えており、新築移転5年目を節目として、地域の皆様に一層信頼される病院づくりを目指したいと考えています。

今後とも、院内のコロナ対策をしっかりと講じながら、安全安心の質の高い医療を提供できるよう職員一同、日々努力して参りたいと思います。皆様には、さらなるご支援、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

令和3年4月吉日 病院長 布施秀樹

新任医師からのご挨拶



医師 木庭 尚哉（こば なおや）

専門：呼吸器内科

経歴：島根大学医学部卒業後、
島根大学医学部付属病院、順天堂医院、
江東病院、板橋中央総合病院などで勤務

はじめまして。令和3年4月より白井聖仁会病院に内科医として入職しました、木庭と申します。

今までは内科のなかでも呼吸器疾患を診察する機会が多くありました。今後は白井市の呼吸器領域を中心に貢献できるよう頑張っていきます。皆様もなにかお困りのことがございましたら遠慮なく相談して下さい。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

健診センター column コラム

白井聖仁会病院 健診センター

带状疱疹ワクチンについて＊ご案内＊

带状疱疹ワクチンは50歳以上の方であれば、どなたでも任意で予防接種が可能です。当院では以前より、带状疱疹の予防接種については『水痘ワクチン』を用いて行っておりましたが、2021年4月から新たに『シングリックス』ワクチンも選択できるようになりました。

带状疱疹は、多くの方が幼少期に感染する水痘（水ぼうそう）ウイルスが原因で起こります。幼少期の水ぼうそうは多くの場合軽症ですみ、ウイルスに対して免疫を獲得し症状は治まります。しかしその後もウイルスは体内に潜伏し続けます。日本人成人の90%以上はウイルスが体内に潜伏していて、80歳までに約3人に1人が带状疱疹になるといわれています。

加齢や過労、ストレス、糖尿病やがん等の病気がきっかけで免疫が低下してくると、潜んでいたウイルスが増殖し、神経領域に水泡が出現する带状疱疹を発症します。带状疱疹は皮膚の水泡が消えてからも長期間にわたり激しい痛みが持続して、日常生活に大きな影響を与えることもあります。

带状疱疹にかかる原因は免疫の低下ですが、水ぼうそうにかかっている子供たちと接触する機会があると、気がつかないうちに免疫が活性化されて免疫を保持することにつながっていました。しかし、2014年から乳幼児の定期予防接種に水痘（水ぼうそう）ワクチンが追加されたことで、水ぼうそうを発症する子供の数が激減しました。そのため、日常生活の中で免疫が活性化する機会自体が減ったため、高齢者の方が带状疱疹を発症するリスクがさらに上昇しています。

带状疱疹は50歳頃から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。アメリカやドイツでは带状疱疹ワクチンは定期接種になっていますが、日本では定期接種化に向けての動きはあるものの、まだ何年先になるかわからないのが現状です。

带状疱疹は約6.4%に再発が認められるため、带状疱疹にかかったことがある方の再発予防としても有効です。带状疱疹にかかったことがある方も、ない方も50歳以上の方は一度、ご検討されてみてはいかがでしょうか。



	水痘ワクチン	シングリックス
接種対象者	50歳以上	50歳以上
予防できる病気	带状疱疹、水痘(水ぼうそう)	带状疱疹
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種経路	皮下注射	筋肉注射
接種回数	1回	2回(2か月後に2回目) 2か月を超えた場合、6か月後までに 2回目を接種する
次のワクチンを接種できる間隔	* 生ワクチンは27日以上あける (生ワクチンの規定)	* 接種間隔に制限はなし (不活化ワクチンは制限なし)
副反応	* 接種部位の痛み、腫れ、発赤 3日~1週間で消失 * 接種後1~3週間後の発熱 * 3~5%に水痘様発疹	* 接種部位の痛み、腫れ、発赤、 筋肉痛、全身倦怠感 3日~1週間で消失
料金	7,100円(税込)/1回	20,000円(税込)/1回
禁忌	* このワクチンにアレルギー症状を 起こしたことがある人 * 妊娠中の人 * 免疫機能が低下している人	* このワクチンにアレルギー症状を 起こしたことがある人
備考	* 1回接種でよい * 費用が安い * 予防効果50~60% * 持続期間5年程度 * 1987年~小児の水痘予防として販売 2016年~带状疱疹予防として販売	* 予防効果が高い(90%以上) * 持続期間が長い 現時点では9年は確認されている * 2020年1月~販売

PR : 白井聖仁会病院健診センターでは、人間ドックや特定健診・各種健康診断・白井市個別がん検診・予防接種を承っております。健診センター受付・お電話でお気軽にお問合せ下さい。

健診センター (直通電話番号) 047-491-7596

医療法人社団聖仁会理念

患者さま一人ひとりのかけがえのない人生の支えとなれるように人に優しい医療・看護・介護を実践します

白井聖仁会病院基本方針

- 1 私たちは、患者さんの意思を尊重し、安心・安全な医療を提供します
- 2 私たちは、健康と生命を守るため日々研鑽に励み、質の高い医療を提供します
- 3 私たちは、地域と密に連携し、地域医療の発展に貢献できる病院を目指します
- 4 私たちは、時代に即し、地域のニーズに応えられる、満足度の高い病院を目指します
- 5 私たちは、心が通い合う、人生に夢と希望を抱ける医療を目指し、最善をつくします

患者さんの権利

- 1 安全で良質な医療を平等に受けることができます
- 2 人としての尊厳が保たれた医療を受けることができます
- 3 病気や治療について十分な説明を受けることができます
- 4 治療方針の決定に参加し、ご自身の意思で医療を選択することができます
- 5 病気あるいはその治療方法などについて、他の医師もしくは他の医療機関の意見を聞くことができます
- 6 病院に対して意見や要望を述べることができます
- 7 プライバシーは保護・尊重されます

患者さんの責務

- 1 適切な医療を受けるため、自らの健康状態等、必要とされる情報をできる限り正確に担当の医療者に伝える責務があります。
- 2 検査や治療について納得して合意したその方針に意欲を持って取り組む責務があります。
- 3 自分自身を含めた全ての患者さんが快適な環境で医療が受けられるよう、病院の規則や病院職員の指示を守る責務があります。
- 4 提供を受けた医療に対し、医療費を支払う責務があります。

白井聖仁会病院の診療実績（2021年1月・2月・3月）

	1月	2月	3月
1日平均外来患者数	299	342	326
1日平均入院患者数	132	157	156
月間新患者数	289	263	338
月間救急患者数	35	18	15

	1月	2月	3月
放射線検査			
一般撮影	1816	2067	2614
マルチスライスCT(造影含む)	307	398	396
1.5T MRI(造影含む)	120	143	210
透視	51	45	69
マンモグラフィ	103	60	74